

「小学校でもアントレプレナー教育を」

上西 好悦
京都教育大学附属京都中学校 教諭
橋本 祥夫
京都教育大学附属京都小学校 教諭

1. はじめに

本校では平成 11 年から中学校にてアントレプレナー教育を試験的に導入。平成 14 年にはアントレプレナー教育の授業理論も整理でき、各学年での授業カリキュラムも複数そろった。この年、学校方針で小中 9 年間の学校作りに取り組みることが決定し、アントレプレナー教育を小学校の 5・6 年生でも実施するプロジェクトが発足。現在の小中連携のアントレプレナー教育に至っている。

2. 実践内容

2.1 目的

当校のアントレプレナー教育は、「起業家から学ぶ」が、起業家を育てることを目的にはしていない。起業家の活動から生徒に気づきを与え、自分自身で気づいてない自己の力に気づかせ、将来自分が就く職業の選択に生かせる。「お金」に代表される経済活動の内容についての学習は課題としてあげるが、身近なものをテーマとしてグループごとに考えさ、「創造力」、「チームワーク力」をつける。それに「自己表現能力」を加えて活動内容を組み立てた。

2.2 活動の流れ

実際の活動では「自分の力で何かをする」「自分の責任で何かに取り組み、達成する」「自分と友だちとチームを組んで何かを成し遂げる」というように、生徒の想いや考えで、自分の力で活動を進める学習に取り組む。生徒は、自分たちでどんなプロジェクトにしたいか考え、計画を立て実行に移す。そして、実際に労働(活動)し、労働(活動)に対する喜びや大変さを体験していく。これらの活動の流れの中で、生徒が、自分について知り、自分の夢や希望を実現していくための資質や能力を培っていくことになる。

2.3 具体的活動

小学校で最初に導入したのは実際に自分達にも実現

できる可能性を残すということで、「遊び場所を作ろう」というテーマだった。このテーマでは、「1年生から4年生や自分たちが遊んでみたくなるような遊び場所を考える」というもので、最終的には生徒の提案を、京都パークホテルの社長に評価してもらった。アントレでは、専門家に評価を受けるということも大切にしている。

なお、小学校でアントレを導入してから3年目になるが、今年度は小中同じテーマで取り組み、活動の内容を工夫して、その成果を見る予定である。

<活動内容>

新京都観光案内～京都へ、ようこそおこしやす～

活動時間：23 時間

活動内容： アントレの視点を学習

京都に観光客が来る理由を考える

既存の京都観光プランの調査

専門家から学ぶ

自分達で新京都観光案内を考える

中間発表

最終発表

3. まとめ

小・中連携に関わらず、複数の教員でアントレの授業を行う際、授業を組み立てるときの骨子の共通理解や担当者の連絡を密にすることが必要である。本校では2ヶ月間、毎週1度勉強会を持った。